

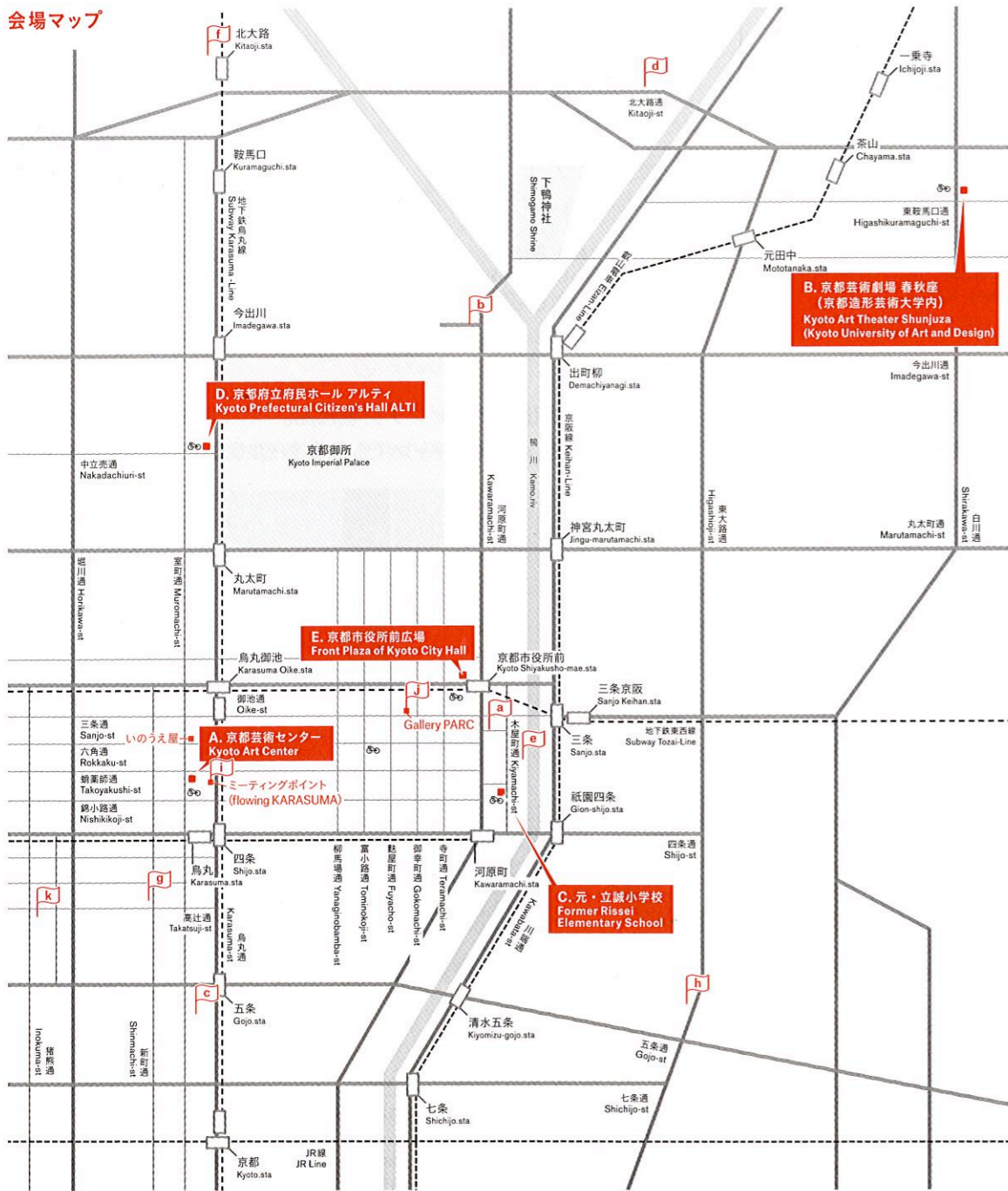
		9/September							10/October																								
アクセス	ACCESS	28 sat	29 sun	30 mon	1 tue	2 wed	3 thu	4 fri	5 sat	6 sun	7 mon	8 tue	9 wed	10 thu	11 fri	12 sat	13 sun	14 mon	15 tue	16 wed	17 thu	18 fri	19 sat	20 sun	21 mon	22 tue	23 wed	24 thu	25 fri	26 sat	27 sun	上演時間 Duration	
1	チェルフィッチュ chelfitsch 地面と床 Ground and Floor		15:00 14:00 □ □ □																													90 min	
2	マルセロ・エヴェリン/デモリションInc. Marcelo Evelin / Demolition Inc. 突然どこもかしこも黒山の人だかりとなる Suddenly everywhere is black with people			14:00 □																												60 min	
3	庭劇団ベニノ Niwagekidan Penino 大きなトランクの中の箱 Box In The Big Trunk								14:00 14:00 □ □																							90 min	
4	木ノ下歌舞伎 KINOSHITA-KABUKI 木ノ下歌舞伎ミュージアム"SAMBASO" ~パパバツとわかる三番叟~ KINOSHITA-KABUKI MUSEUM "SAMBASO"																15:00 13:00 □ □																120 min
5	She She Pop シュプラーデン(引き出し) Drawers																															120 min	
6	Baobab 家庭的 1.2.3 Domestic progress 1.2.3																															100 min	
7	池田亮司 Ryoji Ikeda superposition																															70 min	
8	ロラ・アリアス Lola Arias 憂鬱とデモ Melancholy and Demonstrations																															70 min	
9	ビリー・カウパー Billy Cowie "Art of Movement" and "Dark Rain"																															公演 60 min	
10	高嶺格 Tadasu Takamine ジャパン・シンドローム ~ベルリン編 Japan Syndrome - Berlin version																																
使えるプログラム The Useful Program			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27				
オープントリー作品 Open Entry Performance			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27				
関連イベント																																	

※ 各演目「□」がついた回は終演後ポスト・パフォーマンス・トークを予定しております。 □ Post-Performance Talk
※ 各演目「◎」がついた回は託児サービスをご利用いただけます(有料:1,500円、要事前予約)。予約申込みの締切は各公演の4日前となります。予約・問合せ: KYOTO EXPERIMENT 事務局 075-213-5839 (平日11:00-19:00)

KYOTO EXPERIMENT 2013

2013.9.28(Sat) → 10.27(Sun)





フリンジ 使えるプログラム

- a ARTZONE / VOX SQUARE
- b 出町商店街
- c 元・立誠小学校

たまり場@VOX SQUARE
ゲスト参加者のアーカイブを展示します。また喫茶のご利用も可能です。

フリンジオープンエントリー作品

- a ARTZONE
- c 菅坪シアター スワン
- d アトリエ劇研
- e UrBANGUILD
- f 京都市北文化会館
- g KAIIKA
- h 京都市東山青少年活動センター 創造活動室
- i flowing KARASUMA
- j Gallery PARC
- k 遠藤剛照美術館

フェスティバル・ミーティングポイント

フェスティバルをより楽しむためのスポットが、flowing KARASUMAにオープン！
観劇前後にドリンクやフードを楽しむだけでなく、観客やアーティストと作品の感想をシェアする場としてお立ち寄り下さい。参加アーティストの関連書籍・グッズも販売します。
会場：flowing KARASUMA [Tel: 075-257-1451]
営業時間：11:30-23:00 [L.O.22:30]
定休日：火曜日

※ 貸切のため、ご利用いただけない日程がございます。
営業時間の変更やイベント情報は flowing KARASUMA ウェブサイト [www.flowing.co.jp] をご覧ください。

駐輪場

レンタサイクル

京の貸自転車 いのうえ屋
営業時間：月・土 9:00-18:00、日 10:00-18:00
※フェスティバル期間全日 18:00 から 21:45 まで
KYOTO EXPERIMENT 事務局 (京都芸術センター内) での返却が可能です。
貸出・返却場所：いのうえ屋
利用料金：¥500/日
お問合せ：いのうえ屋 [Tel: 075-231-5412]
※ご利用の方は「KYOTO EXPERIMENT レンタサイクル利用」とお伝えください。

アクセス

- A 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2
Tel 075-213-1000
- B 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
Tel 075-791-8240
- C 京都市中京区蛸薬師通河原町東入備前島町 310-2
Tel 075-213-5839 (KEX 事務局)
- D 京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町 590-1
Tel 075-441-1414
- E 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町 488

会期

2013年9月28日(土) → 10月27日(日)

会場

京都芸術センター 京都芸術劇場 春秋座 元・立誠小学校
京都府立府民ホール アルティ Gallery PARC 京都市役所前広場 etc.

京都から世界へ、世界から京都へ
時代に問いかける、舞台芸術の実験

2010年からスタート、今年で4回目となる国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」。日本国内のみならず、ブラジル、フランス、イギリス、ドイツ、アルゼンチンから、世界の舞台芸術を牽引する先鋭的な作品、アーティストが京都に集います。既存のジャンル・枠組みを超えた未知なる表現に出会うことは、「実験＝実験」を冠したフェスティバルの核心と言ってよいでしょう。世界初演の作品をはじめ、アーティストとの共同製作を重ねるなど、国内外のネットワークを活かしながら、フェスティバルそのものが創造的な場として動き出しています。

主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会 (京都市、京都芸術センター、公益財団法人京都市芸術文化協会、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター)

共催：立誠・文化のまち運営委員会、京都府立府民ホール アルティ

協力：Gallery PARC [グランマープル ギャラリー・バルク]

協賛：株式会社資生堂、トヨタ自動車株式会社

助成：平成25年度文化庁国際芸術交流支援事業、独立行政法人日本万国博覧会記念機構、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人セゾン文化財団

認定：公益社団法人企業メセナ協議会



お問合せ

KYOTO EXPERIMENT 事務局 [平日 11:00-19:00]
〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2 京都芸術センター内
KYOTO EXPERIMENT OFFICE, Kyoto Art Center, 546-2,
Yamabushiyama-cho, Nakagyo-ku, Kyoto
Tel 075-213-5839 Fax 075-213-5849 E-mail info@kyoto-ex.jp URL kyoto-ex.jp

2013年8月2日(金) 11:00より前売開始

チケット取扱

KYOTO EXPERIMENT チケットセンター (11:00-20:00、8/4-9/22 は日曜休)
 ・窓口 | 京都芸術センター 2F ・Tel | 075-213-0820
 ・オンライン(要事前登録) | <http://kyoto-ex.jp> (PC) <http://kyoto-ex.jp/m> (Mobile)
京都芸術センター (10:00-20:00) 窓口販売のみ
 チケットぴあ Tel | 0570-02-9999 Web | <http://t.pia.jp>

セット券

複数観劇される方へお得なセット券です。公式プログラムからご希望の演目を組み合わせてご観劇ください。
 (ご本人様のみ有効)

取扱 = KYOTO EXPERIMENT チケットセンター

■フリーパス(公式プログラム有料公演9演目) | ¥18,000

すべての公式プログラムをご観覧いただけます。(1演目につき1回)【枚数限定】

■学生フリーパス(公式プログラム有料公演9演目) | ¥12,000

すべての公式プログラムをご観劇いただけます。(1演目につき1回。要学生証提示)【枚数限定】

■3演目券 | ¥7,500

公式プログラムからお好きな3演目を選び、すべて同時に予約することでお得に観劇できるセット券です。

■学生3演目券 | ¥6,000

公式プログラムからお好きな3演目を選び、すべて同時に予約することでお得に観劇できるセット券です。
 (要学生証提示)

KEX半券割引

当日受付で、対象公演*の観劇済み公演チケットの半券をご提示いただくと、
 公式プログラムの当日券が¥500 OFF(前売料金)でご入場いただけます!

【対象公演*】: KYOTO EXPERIMENT 2013 公式プログラム/フリンジ企画「使えるプログラム」作品/オープンエントリー作品
 ※半券1枚につき1名、1回のみ有効。当日券のみの取扱で、残席がある場合に限りです。

Notes

- ・ユース・学生、シニア、高校生以下チケットをご購入の方は当日、証明書のご提示が必要です。
- ・団体割引(10名以上)を設けております。詳細はKYOTO EXPERIMENT チケットセンターまで。
- ・車椅子でお越しのお客様は、各料金の¥500引き(介助者1名無料)となります。
 (お席の場所をこちらで指定する場合がございます。お問合せはKYOTO EXPERIMENT チケットセンターまで)
- ・主催者の都合による公演中止の場合をのぞき、ご購入後のキャンセル、日時の変更はできません。
- ・演出の都合上、開演後、入場を制限させていただく場合がございます。その際払い戻しはいたしません。

Advanced tickets are available from August 2, 2013, 11:00a.m.

KYOTO EXPERIMENT TICKET CENTER (11:00-20:00, Closed on Sundays 8/4 - 9/22)
 ・Box Office | Kyoto Art Center 2F ・Tel | 075-213-0820 ・Online | <http://kyoto-ex.jp>

Kyoto Art Center (10:00-20:00) Box Office only

KYOTO EXPERIMENT Coupon Tickets

Free Pass | ¥18,000 (for all 9 official programs) [Limited number]

Free Pass [for student] | ¥12,000 (for all 9 official programs) [Limited number]

3 performances | ¥7,500

3 performances [for student] | ¥6,000

Repeater's Discount | ¥500 off the regular day ticket price

*For more information, see the website [<http://kyoto-ex.jp>]

※詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。[<http://kyoto-ex.jp>]

松延総司展「Twisted Rubber Band」

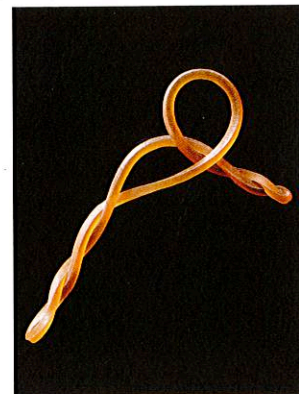
美術作家、松延総司による個展。今年のフェスティバルのメインイメージとなった、作品『Twisted Rubber Band』を中心に展示します。

会期：9.17(Tue)-9.29(Sun) 11:00-19:00[予定]

会場：Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク]
 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル2F

料金：無料

協力：Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク]

舞台芸術制作者オープンネットワーク
(ON-PAM) シンポジウム
「表現の自由をめぐる(仮)」

今年2月に発足した、舞台芸術と社会を繋ぐ全国的・国際的な会員制ネットワーク「舞台芸術制作者オープンネットワーク」。本ネットワークの事業と関連する今日的なテーマでシンポジウムを設け、会員以外の多様な参加者にも開かれた場で議論を深めていきます。

日程：10.14(Mon)

会場：京都芸術センター 大広間

参加費：¥500

主催：お問合せ：舞台芸術制作者オープンネットワーク

[E-mail: info@onpam.net]

共催：KYOTO EXPERIMENT

助成：公益財団法人セゾン文化財団



昨年のキックオフミーティング

アーティスト・イン・レジデンス・プログラム
ダヴィデ・ヴォンバク
新作のためのリサーチ&クリエーション

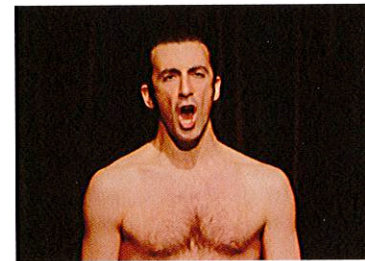
ダヴィデ・ヴォンバクは、2011年にヴィアラ九条山に6ヶ月間滞在し、KYOTO EXPERIMENT 2011でもダンスワークショップを行った、フランス人振付家・ダンサー。フェスティバル開催期間中に来日し、新作のリサーチとクリエーションを行います。

滞在期間：10.6(Sun)-10.20(Sun)

ニュー・ブランシュ KYOTO 2013 プログラム
パフォーマンス『TOUR』

滞前に先立って「ニュー・ブランシュ KYOTO 2013」の一環として、ダヴィデ・ヴォンバクとベルリン在住のアーティスト、ニコ・イニンゲンによるパフォーマンス『TOUR』(2013)を行います。

日程：10.5(Sat) 会場：京都芸術センター



『TOUR』

フリンジ企画 使えるプログラム

Fringe "The Useful Program"

詳細は「使えるプログラム」ウェブサイト
[http://kyoto-ex-useful.jp]をご覧ください。

演出家・羽鳥嘉郎(けのび)の企画立案による「使えるプログラム」は「劇は使える」をコンセプトに、劇を認知する回路が、日常の関係やコミュニケーションにおいても使えることを示そうとするプログラムです。
【支援系】【上演系】【ワークショップ系】【記録集】4つの柱とし、劇とは何か？ 使えるとはどういうことか？ が検討されていきます。

劇場でしか、あるいは演じられなければ、「劇」はないのでしょうか？

だいたい、「劇」とは何でできているのでしょうか？

● ゲスト参加者

米光一成

『ぶよぶよ』『パロック』などを生み出した米光は、ゲームデザイナーとしてのキャリア開始時から一貫して、インタラクティブ性を重視した活動を展開してきました。演劇を含むさまざまな集団創作理論のハイブリッドとしての彼の企ては、人間の集まり方自体をその中でいかに楽しみ、いかに変えていくかを、新たな視点で提案してくれます。

上演系

『思考ツールとしてのタロット』 日程：9.29(Sun) 会場：a ARTZONE

『言葉と脳、カードと仕組み(仮)』 日程：10.14(Mon), 10.26(Sat), 10.27(Sun) 会場：a VOX SQUARE

ワークショップ系

『カードゲームワークショップ(仮)』 日程：9.29(Sun) 会場：a ARTZONE

『「言葉と脳、カードと仕組み」ワークショップ(仮)』 日程：9.30(Mon), 10.7(Mon), 10.14(Mon) 会場：a VOX SQUARE

ni_ka

ni_kaは、ARアプリ「セカイカメラ」を活用し、画面を通した拡張現実(AR)空間に詩を浮かべる作品、AR詩を発表しています。会場となる出町商店街は、ご当地萌えキャラ「加茂川マコト」やアニメ『たまこまーけっと』によって、訪れる人々の「二重の聖地」と化しています。土地柄と呼応しながら制作される本作は、言葉やキャラクターの存在可能性をめぐるツアー・パフォーマンスとなるでしょう。

上演系

AR詩劇『キャラクターズ・リップ』 日程：10.4(Fri)-10.6(Sun) 会場：b 出町商店街+α

ワークショップ系

『わた詩たち、AR詩劇を、編むタイプ』 日程：10.10(Thu)

けのび

「現実においても有効な演出」を追求してきたけのびは、現在最もラディカルな演劇集団のひとつです。近代日本における炭酸飲料水の受容へのリサーチをふまえた『ウィルキンソンと石』(新作)と『新しい宿に寄せて』(2011)など、私たちの認知や判断基準に揺さぶりをかける各上演は、「使えるプログラム」の問いかけのハードな面を体現するでしょう。

上演系

『ウィルキンソンと石』 日程：9.28(Sat), 10.6(Sun), 10.13(Sun), 10.27(Sun)

『新しい宿に寄せて』 日程：10.11(Fri), 10.26(Sat) 会場：📍元・立誠小学校

ワークショップ系

『おかず石』 日程：10.5(Sat)

『自治』 日程：10.8(Tue), 10.15(Tue), 10.21(Mon)-10.24(Thu)

『指導案の会』 日程：10.19(Sat), 10.20(Sun)

● 支援系A参加者

澄井葵(5)、森陽平(HOME)、山崎健太

※公募により選ばれ、期間中、上演や批評活動を展開。

フリンジ企画 オープンエントリー作品

Fringe "OPEN ENTRY PERFORMANCE"

KYOTO EXPERIMENT 2013開催期間中に京都府下で発表される作品を一挙に紹介する「オープンエントリー作品」。ジャンル不問・審査なしで登録可能。今年エントリーされたのは計20作品！さまざまな演劇・ダンス・音楽が、京都内外から集結します。京都のどこかでなにかに必ず出会える一カ月。

01 岩田の禁

THE GO AND MO'S

● KYOTO|THEATER

9/27(Fri)-29(Sun)

c 沓坪シアター スワン

02 夕暮れ社(文学作品へのチャレンジ・ARTZONE 先行上演)

『或A先生の新作』

夕暮れ社 弱男ユニット

● KYOTO|THEATER

9/27(Fri)-28(Sat)

a ARTZONE

03 Woyzeck/W

富士山アネット×

富士山アネット / Manos.(マノス)

● TOKYO|DANCE+THEATER

9/28(Sat)-30(Mon)

d アトリエ劇研

04 蛇香祭

蛇香

KYOTO|MUSIC+DANCE

9/28(Sat)

e UrBANGUILD

05 out of / think of / contemporary music

中川裕貴、バンド

● KYOTO|MUSIC

9/30(Mon), 10/7(Mon)

e UrBANGUILD

06 努力クラブ必見コント集

『流したくない涙を流した』

努力クラブ

● KYOTO|COMIC PLAY

10/1(Tue)-2(Wed)

e UrBANGUILD

07 罪と罰

劇団うりんこ

● NAGOYA|THEATER

10/5(Sat)

f 京都市北文化会館

08 魚企画 vol.5『Km.の覗き方』

淡水

● OSAKA|DANCE

10/6(Sun)

e UrBANGUILD

09 岩戸山の Cockpit

劇団衛星

● KYOTO|THEATER

10/7(Mon)-27(Sun)

g KAIIKA

10 エヴェレットラインズ

村川拓也

● KYOTO|THEATER

10/8(Tue)-9(Wed)

d アトリエ劇研

11 パブリックアドレス

荒木優光

● KYOTO|SOUND PERFORMANCE

10/8(Tue)-9(Wed)

d アトリエ劇研

12 Velvet Moon Hugues

Vincent Special 3days

Hugues Vincent

● FRANCE|MUSIC

10/8(Tue), 10(Thu), 14(Mon)

e UrBANGUILD

13 30 回有効のパスポート

竹ち代穂也×豊田奈千甫=黒子沙菜恵

● KYOTO|DANCE+MUSIC

10/11(Fri)-12(Sat)

e UrBANGUILD

14 ドキドキぼーいずの紅葉狩り

02『浮いちゃった☆』

ドキドキぼーいず

● KYOTO|THEATER

10/11(Fri)-13(Sun)

h 京都市東山青少年活動センター
創造活動室

15 高間響国際舞台芸術祭

笑の内閣

● KYOTO|THEATER

10/12(Sat)-14(Mon)

d アトリエ劇研

16 esPACE

田中千晶

● OSAKA|DANCE

10/25(Fri)

i flowing KARASUMA

17 ぶこつな霞

双子の未亡人

● KYOTO|DANCE

10/24(Thu)-27(Sun)

j Gallery PARC

18 6人の悩める観客

壱劇屋

● OSAKA|THEATER

10/25(Fri)-27(Sun)

h 京都市東山青少年活動センター
創造活動室

19 就活魔女☆とろみ

fukui 企画

● KYOTO|THEATER

10/25(Fri)-28(Mon)

d アトリエ劇研

20 ヒキダシ_ホテル

BRDG

● KYOTO|THEATER

10/26(Sat)-27(Sun)

k 遠藤剛照美術館

チェルフィッチュ
chelfitsch

新作 | 日本初演

地面と床
Ground and Floor

1 9.28(Sat) 15:00-、19:00-
9.29(Sun) 14:00-□

京都府立府民ホール アルティ
Kyoto Prefectural Citizen's Hall ALTI

🕒 90min

□ ポスト・パフォーマンス・トーク

チェルフィッチュの「音楽劇」!?
演劇という装置の有効性をアップデートする大いなる野心

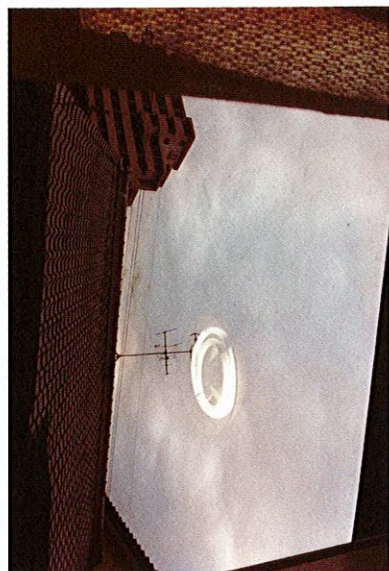


photo: Fumiko Okada

2010年のKYOTO EXPERIMENTにも参加し、今や日本の現代演劇を牽引する存在となったチェルフィッチュ。今回が日本初演となる最新作『地面と床』は、盟友とも言えるバンド「サンガツ」とともに、初の、そして独自の「音楽劇」に挑む。舞台は、日本語がほとんど誰にも伝わらなくなった近未来の日本。言葉と故郷を失いつつある社会に生き、記憶と忘却の狭間で揺れ動く〈生者〉たちと、彼らを憂う〈死者〉の利害が対立する。演劇の新しい形式を探索することから、いかに演劇という装置を有効にアップデートするかの試みへ。チェルフィッチュは次の次元へ向かっている。

¥ 一般 Adults ¥3,500
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥3,000
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥3,000
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
自由席 Free Seating [Pコード 430-474]

※当日券は前売券+¥500 (高校生以下は同額)
*Tickets on the day are an additional ¥500 (High School Student & Younger are ¥1,000)

マルセロ・エヴェリン/デモリション Inc.
Marcelo Evelin / Demolition Inc.

新作 | 日本初演

🕒 12歳未満は保護者の同伴が必要。
途中入場はできません。

突然どこもかしこも黒山の人だかりとなる
Suddenly everywhere is black with people

1 9.28(Sat) 19:00-
9.29(Sun) 14:00-、19:00-
9.30(Mon) 20:00-
10.1(Tue) 20:00-

京都芸術センター 講堂
Kyoto Art Center Auditorium

🕒 60min

暗闇に蠢く、漆黒のパフォーマーたち。
知性と肉体を揺さぶる、ブラジルの異才による最新作



photo: Sergio Cadden

ブラジル・テレジナを拠点に、果敢に活動を繰り広げる振付家・ダンサーのマルセロ・エヴェリン。2011年のKYOTO EXPERIMENTでは『マタドウロ(屠場)』で、センセーショナルな日本デビューを飾った。さらに昨年京都で滞在制作を行った本作が、ついに日本上陸を果たす。印象的な作品タイトルは、群衆論で知られるノーベル賞作家、エリアス・カネッティの著作『群衆と権力』の一節から。舞台と客席の区別がない、仄暗い空間へと誘われた観客は、そこで全身を真っ黒にしたパフォーマーたちと対面する。すべてが渾然一体となった異様な空間で起きる出来事とは一体!?

関連イベント
公演期間中、マルセロ・エヴェリン作品に関するレクチャーを開催予定。

¥ 一般 Adults ¥3,000
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥2,500
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥2,500
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
※客席のご用意はありません。*Regular seats are not provided.
[Pコード 430-475]

※当日券は前売券+¥500 (高校生以下は同額)
*Tickets on the day are an additional ¥500 (High School Student & Younger are ¥1,000)

庭劇団ペニノ

新作 | 関西初演

🕒 未就学児入場不可。
途中入場はできません。

Niwagekidan Penino

大きなトランクの中の箱
Box In The Big Trunk

1 10.3(Thu) 19:30-
10.4(Fri) 19:30-
10.5(Sat) 14:00-□、18:00-
10.6(Sun) 14:00-、18:00-
10.7(Mon) 19:30-
10.8(Tue) 19:00-

元・立誠小学校 講堂
Former Rissei
Elementary School Auditorium

🕒 90min

□ ポスト・パフォーマンス・トーク

驚愕の舞台美術とともに、異様で猥雑な妄想の扉が開く。
ただし、それは〈あなた〉自身の妄想かもしれない…

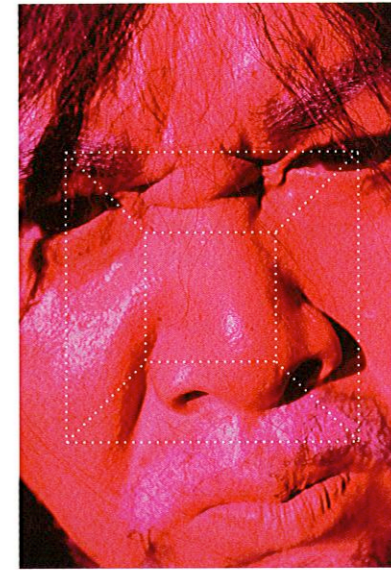


image: Mario Yoshino

庭劇団ペニノ主宰のタニノクロウは、自身が住んでいた東京・青山のマンションの一角を、劇団のアトリエへと改装。「はこぶね」と名付けられた極めてミニマムな空間で、異様で猥雑な、そして愛らしい妄想ファンタジーを繰り広げてきた。本作は、2004年から4年ごとに「はこぶね」で立ち上がった3作品をひとつの〈箱〉にぎゅっと詰めこみ、新しい作品に仕立て上げた、贅沢でぶっ飛んだ企み。3+1の世界を縦横に展開させる、驚異的な舞台装置も見ものだ。これらの世界/空間を歩き来する無限のループは、醒めない夢の中にあるような、恐怖と愉悅にどっぷりと浸かる体験となるだろう。

¥ 一般 Adults ¥3,000
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥2,500
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥2,500
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
自由席 Free Seating [Pコード 430-476]

※当日券は前売券+¥500 (高校生以下は同額)
*Tickets on the day are an additional ¥500 (High School Student & Younger are ¥1,000)

Baobab

新作 | 関西初演

家庭的 1.2.3
Domestic progress 1.2.3

10.19 (Sat) 13:30-□, 19:00-
10.20 (Sun) 13:30-□

元・立誠小学校 講堂
Former Rissei
Elementary School Auditorium

100min

□ ポスト・パフォーマンス・トーク

観客席まで席卷する、圧倒的な熱量。

日常の身体を飛び出し、シンプルな身体ドラマを描く



photo: Yu Okamoto

2010年、京都で実質的な旗揚げ公演を行い、3年連続でKYOTO EXPERIMENT フリンジ企画に参加してきたBaobabが、満を持して公式プログラムに初登場。ダンスの本質的な楽しさを隠さないポジティブな舞台は、昨年のトヨタコレオグラフィーアワードでオーディエンス賞を受賞するなど、多くの観客を魅了している。いわゆる日常の身振り、身体を足がかりに、1、2、3と跳躍して、圧倒的なフィクションとしての身体へ。そんな意味を含んだタイトルの新作は、Baobabらしい大胆に練られた展開が期待される。第2の故郷ともいえる京都で、彼らはどこまで飛躍するのか。

関連イベント

- ・ ワークインプログレス / ショーイング & トーク 8.11(Sun) 15:00 @ 京都芸術センター 講堂
- ・ ワークショップ 10.21(Mon), 10.22(Tue) @ 京都芸術センター フリースペース

一般 Adults ¥2,500
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥2,000
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥2,000
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
自由席 Free Seating [Pコード 430-479]

※当日券は前売券+¥500 (高校生以下は同額)

*Tickets on the day are an additional ¥500 (High School Student & Younger are ¥1,000)

池田亮司

Ryoji Ikeda

superposition

新作 | 日本初演

未就学児入場不可。
本作品は強いストロボと重低音・高周波を使用したしておりますので、心臓の弱い方やペースメーカーをご使用の方などはご遠慮下さい。

10.25 (Fri) 19:30-
10.26 (Sat) 14:30-, 19:30-

京都芸術劇場 春秋座
Kyoto Art Theater Shunjuza

70min

量子論的構造から紡がれる映像と音響が

圧倒的強度で観客を包み込む新シリーズ、ついに日本初演

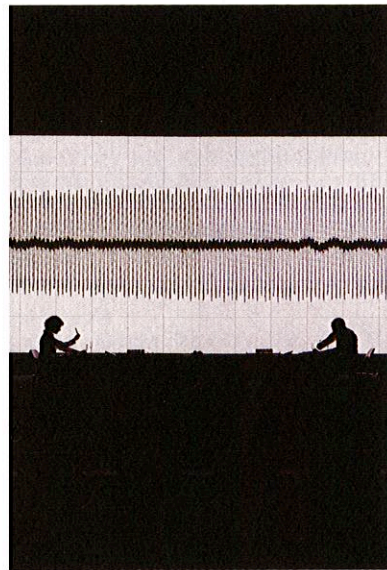


photo: Daniel Karl Fiedlis Fuchs

池田亮司はパリを拠点に世界的に活躍する、電子音楽家でヴィジュアル・アーティスト。昨年11月にパリ・ボンビドゥーセンターで初演された「superposition」の新シリーズは、量子力学や量子情報理論を作品化しようとする野心的なプロジェクト。そのパフォーマンス版となる本作では、池田の作品では初の試みとなる生身の身体(2名のパフォーマー)がステージに登場。合計22面のスクリーンが奥行きをもって配置され、ステージ上のすべての構成要素は、重ね合わせ(superposition)の状態となる。その崇高かつ圧倒的な空間体験は、池田流の〈世界〉への触れ方に違いない。

関連シンポジウム 「“量子の新世紀”のアート&サイエンス」

10.27 (Sun) 17:00- 出演: 池田亮司、佐藤文隆(甲南大学/京都大学名誉教授)、丸山善宏(オックスフォード大学)、浅田彰(京都造形芸術大学) @ 京都芸術劇場 春秋座 ※入場無料・申込不要

一般 Adults ¥3,500
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥3,000
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥3,000
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
指定席 Reserved Seating [Pコード 430-480]

※当日券は前売券+¥500 (高校生以下は同額)

*Tickets on the day are an additional ¥500 (High School Student & Younger are ¥1,000)

ロラ・アリアス

Lola Arias

憂鬱とデモ

Melancholy and Demonstrations

日本初演

10.25 (Fri) 20:00-
10.26 (Sat) 17:00-□
10.27 (Sun) 17:00-

京都芸術センター 講堂
Kyoto Art Center Auditorium

70min

□ ポスト・パフォーマンス・トーク

実の母親に見出すアルゼンチン年代記。

劇作家で女優、ミュージシャンでもあるオールラウンダーが待望の来日

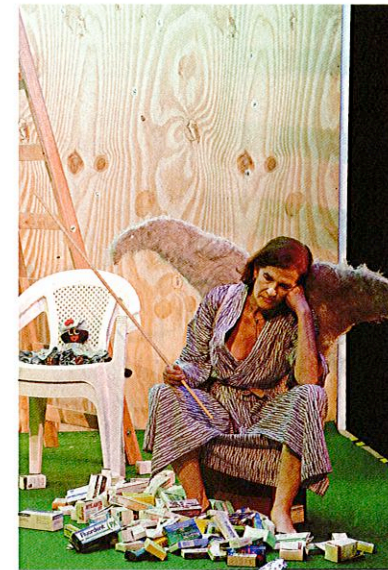


photo: Lorenz Fernandez

劇作家、演出家、女優、ミュージシャン…とマルチな才能を発揮して活躍するアルゼンチンのアーティスト、ロラ・アリアス。昨年、ウィーンで初演された『憂鬱とデモ』は、ロラ自身の母親の手記をベースにした舞台作品である。ロラが生まれた1976年は、クーデターによって軍事独裁政権が生まれ、アルゼンチンの暗黒時代のはじまりとなった年。それは、進歩的な大学教授だったロラの母親にとっても、鬱々とした日々の始まりだった…。母と娘、国家と個人、歴史と空想、憂鬱とデモ。過酷な政治的現実が、詩的に、ときにユーモラスに、心揺さぶる表現へと変奏される。

一般 Adults ¥3,500
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥3,000
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥3,000
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
自由席 Free Seating [Pコード 430-481]

※当日券は前売券+¥500 (高校生以下は同額)

*Tickets on the day are an additional ¥500 (High School Student & Younger are ¥1,000)

木ノ下歌舞伎

新作 | 世界初演

KINOSHITA-KABUKI

木ノ下歌舞伎ミュージアム“SAMBASO”

～バババッとわかる三番叟～

KINOSHITA-KABUKI MUSEUM “SAMBASO”

10.12 (Sat) 15:00-, 19:00-
10.13 (Sun) 13:00-, 17:00-

京都芸術劇場 春秋座
Kyoto Art Theater Shunjuza

※13日13:00の回は未就学児もご入場いただけます。

120min

木ノ下歌舞伎による、見たこともない〈動く〉博物館。
敬して遠ざげない、古典芸能の遊びかた



photo: Takashi Horikawa design: Shiro Arano

京都を拠点に、歌舞伎の演目を現代の視点で捉え直してきた木ノ下歌舞伎。主宰・木ノ下裕一の指針に基づいて、演目ごとにさまざまな演出家を起用しながら上演を果たしてきた。『三番叟』は、2008、12年にも、木ノ下裕一監修、杉原邦生演出で上演され、13年には海外公演も実現した人気のダンス作品。再演することにより更新を続けて、木ノ下歌舞伎の躍進を計る格好の演目になっている。さらに今回は、「三番叟」の歴史をたどる関連展示、狂言師・茂山童司の舞も組み合わせるといふ、劇場全体を使ったツアー形式で体感できるスペシャルな企画。木ノ下歌舞伎がSAMBASOの歴史に新たな1ページを書き加える。

一般 Adults ¥2,500
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥2,000
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥2,000
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
自由席 Free Seating [Pコード 430-477]

※当日券は前売券+¥500
(高校生以下は同額)

*Tickets on the day
are an additional ¥500
(High School Student &
Younger are ¥1,000)

She She Pop

日本初演

シュプラーデン (引き出し)

Drawers

10.18 (Fri) 19:30-
10.19 (Sat) 16:00-
10.20 (Sun) 16:00-

京都芸術センター 講堂
Kyoto Art Center Auditorium

120min

ポスト・パフォーマンス・トーク

個人の記憶、国家の歴史がポリフォニックに響きあう。
時代と社会状況をどん欲にとりこんだ、ドイツ発の話題作

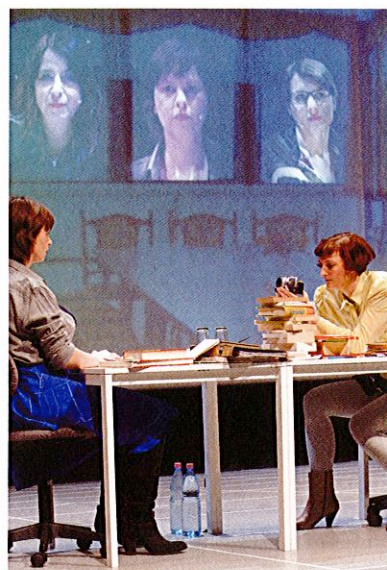


photo: Benjamin Krieg

ドイツの女性パフォーマンス集団She She Popは、演出家/脚本家/俳優といった特定の役割を置かず、メンバーそれぞれの個人的な経験、価値観に基づいて、集団で作品を作りあげるといふユニークなスタイルをとっている。最新作となる本作は、東西ドイツの分断、そして壁の崩壊という、過去約半世紀にわたるヨーロッパの大きな歴史をひもとく試み。壁の両側で生まれた6人の女性が、それぞれの引き出しから手紙、日記、写真、レコードを取り出しながら、人生の物語を深く紡いでいく。自伝的素材から露わになる様々な〈断絶〉は、日本の観客にもアクチュアルに響きだろう。

関連イベント 東ドイツ関連DVD上映会
10.3 (Thu), 6 (Sun) @ 京都芸術センター
共催: ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川



一般 Adults ¥3,500
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥3,000
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥3,000
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
自由席 Free Seating [Pコード 430-478]

※当日券は前売券+¥500
(高校生以下は同額)

*Tickets on the day
are an additional ¥500
(High School Student &
Younger are ¥1,000)

ビリー・カウイー

新作 | 世界初演

Billy Cowie

“Art of Movement” and “Dark Rain”

《展示 Exhibition》

1 9.28(Sat) - 10.27(Sun)
10:00-20:00 会期中無休

京都芸術センター ギャラリー南
Kyoto Art Center South Gallery

《パフォーマンス Performance》

1 10.8(Tue) 20:00-
10.9(Wed) 20:00-

京都芸術センター 講堂
Kyoto Art Center Auditorium

60min

生身と3D映像のダンサーが交錯!?

ライブパフォーマンスの意味を今改めて問いかける

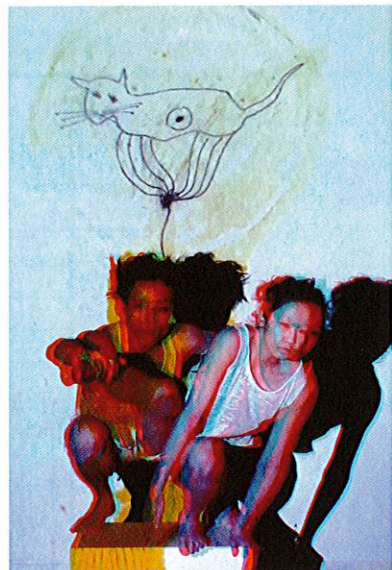


photo: Billy Cowie

2012年のKYOTO EXPERIMENTでは、ダンサーの息遣い、微細な筋肉の動きまでも間近に感じる3D映像インスタレーションを展示したビリー・カウイー。昨年の京都滞在を通して、3人のダンサー(京極朋彦、南弓子、黒子沙菜恵)とともに製作した新作が、インスタレーション作品として展示される。さらに今回は、実際のダンス公演としても2日間の上演が決定。3D映像とライブパフォーマンスの差異、舞台表現にまつわる一回性、テクノロジーと身体の融合…さまざまな問題意識が織りなす、貴重な試みとなるだろう。

《展示 Exhibition》 入場無料 Admission Free

《パフォーマンス Performance》

一般 Adults ¥2,000
ユース (25歳以下)・学生 Youth (Up to 25), Student ¥1,500
シニア (65歳以上) Senior (65 & Up) ¥1,500
高校生以下 High School Student & Younger ¥1,000
自由席 Free Seating [Pコード 430-482]

※当日券は前売券+¥500
(高校生以下は同額)

*Tickets on the day
are an additional ¥500
(High School Student &
Younger are ¥1,000)

高嶺格

新作

Tadasu Takamine

ジャパン・シンドローム～ベルリン編

Japan Syndrome -Berlin version

《展示 Exhibition》

1 9.28(Sat) - 10.27(Sun)
10:00-20:00 会期中無休

京都芸術センター ギャラリー北
Kyoto Art Center North Gallery

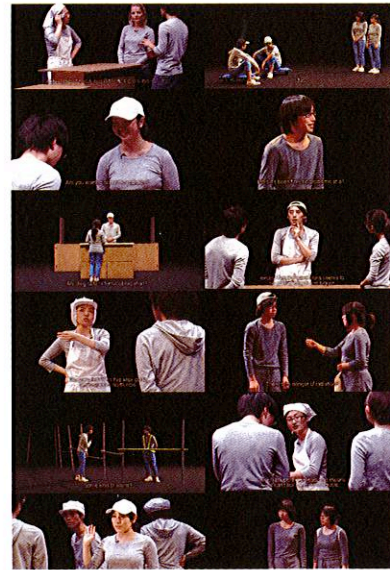
《パブリックビューイング Public Viewing》

1 10.5(Sat) 19:10-
※ニュー・ブランシュ KYOTO 2013 プログラム

京都市役所前広場
Front Plaza of Kyoto City Hall

ブラジルから東北、そしてベルリンへ。

現在進行形のフクシマは、ヨーロッパにどう映っているか



2011年からKYOTO EXPERIMENTに参加している高嶺格。シリーズ「ジャパン・シンドローム」は、映像、インスタレーション、パフォーマンスとスタイルを変えながら、昨年はブラジルのフェスティバル・パノラマでも発表された。今回の『ジャパン・シンドローム～ベルリン編』では、これまで京都、水戸、山口で制作された映像シリーズの続編を、1年間のアーティスト・イン・レジデンス先のベルリンで展開する。原発事故が与えた影響を街で取材、そのやりとりを演技としてスタジオで再現し、映像で記録するというこの作品は、シンプルな仕掛けゆえに現代日本の抱えるジレンマをより顕在化させる。日本を離れ、遠くドイツから問い直す〈我々の現在〉。

《展示 Exhibition》 入場無料 Admission Free